

# 月次レポート

第13号  
2009年12月10日作成

# ユニオンファンド

追加型株式投資信託／ファンド オブ ファンズ  
(分配金再投資専用)

～ マークのなかに託した私たちの想い ～  
4世代(おじいちゃん・おばあちゃん、熟世代、勤労世代、  
お子さんやお孫さん)をあしらいました。  
ハンドinハンドで親近感や繋がり・絆を深め、  
幸せの輪をひろげようという想いを込めています。



Union Asset Management Inc.  
ユニオン投信株式会社

「ユニオンファンド」の「月次レポート」(2009年12月10日作成)をお届けします。

## 運用状況のご報告

### ユニオンファンド概況



### ファンドマネージャー コメント

#### 投資環境と見通し

中国・インド(前月紹介)に続く新興国としては、ロシア・ブラジル・メキシコ・南アフリカなどがあげられます。

4カ国の比較は次の通りです。

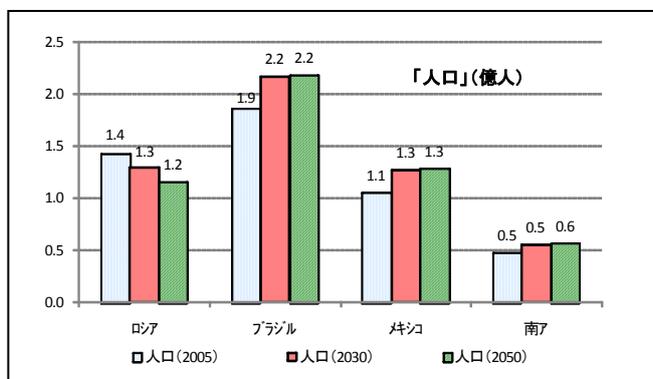
#### 組入れファンドの内訳(組入比率は11/30付け)

ファンド名	主な地域	組入比率	目標組入比率	目標比
さわかみF	日本	約15%	18%	約-3%
キャピタルF	欧米	約20%	22%	約-2%
ハリスF	欧米	約16%	20%	約-4%
コムジェストF	イマジ	約36%	40%	約-4%
キャッシュ	-	約12%	-	約12%

#### 人口:

ロシア: 新興国の中で唯一人口減少が見込まれる国。

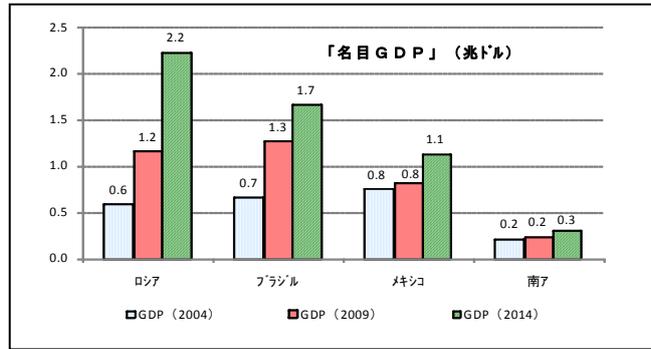
ブラジル・メキシコ・南ア: とともに緩やかな人口増。インドのような急増は見られない。



◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

**経済規模：**

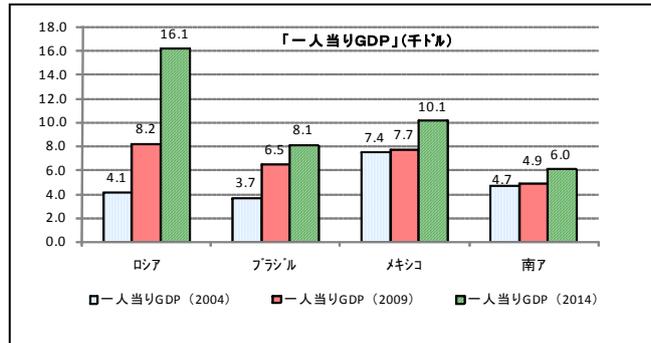
ロシア：急拡大へ。5年後には「G7」並に。  
 ブラジル：5年後にはロシア・インドに続く規模に。  
 メキシコ：ブラジルに次ぐ中南米第2の経済規模  
 南ア：アフリカの経済大国。



(出所:IMF)

**一人当り所得 (GDP)：**

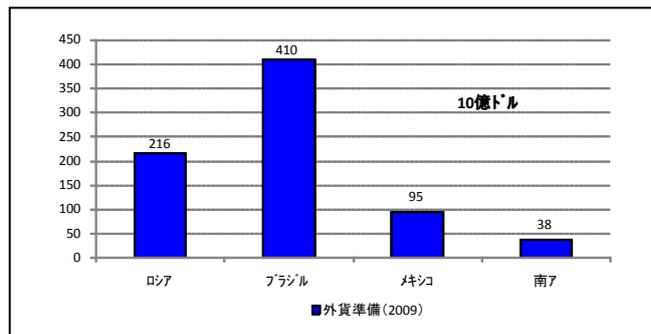
ロシア：一人当り所得が急拡大。「G7」にキャッチアップ。  
 ブラジル・メキシコ・南ア：着実に上昇。メキシコがブラジルを上回る(人口効率が低い)。



(出所:IMF)

**外貨準備高：**

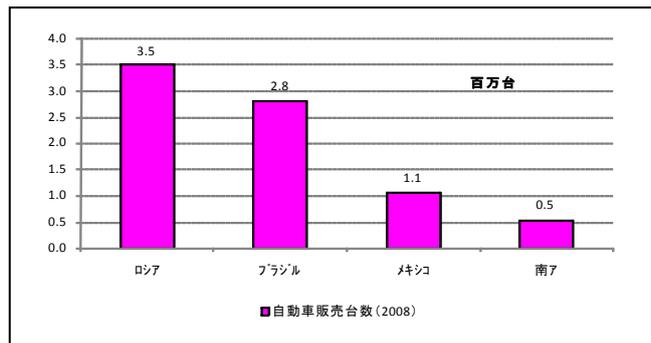
4カ国：ともに資源国であり、資源価格高騰のメリットを享受。外貨準備は十分。  
 ブラジル：資源輸出に加え、外国資本流入増で外貨潤沢。



(出所:IMF)

**自動車販売台数：**

ロシア：資源高で「富裕層」急増→自動車普及がハイピッチ(数字は輸入中古車込み)。  
 ブラジル：インドを上回る台数。自動車ブームの様相。



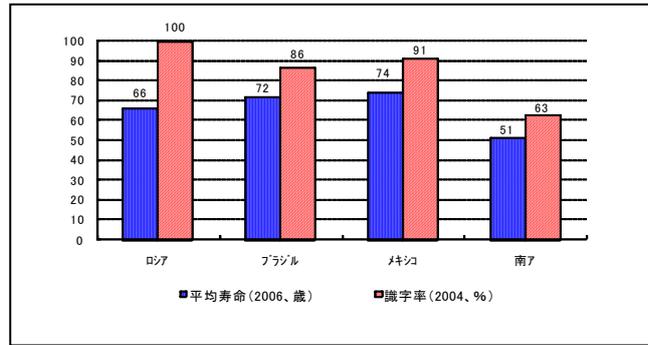
(出所:日本自動車工業会、一部ユニオン投信株式会社推定)

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

#### 平均寿命・識字率：

ロシア：アルコール依存症で男性の平均寿命が低い  
(=60歳、女性は73歳)。識字率は99.6%。

南ア：平均寿命は51歳と低いが、アフリカ内では高い方。  
識字率も同様。



(出所: 国連、WHO)

#### 4カ国の「強み」「課題」：

**[ロシア]** 強み・・・世界有数の資源国（石油・ガス産出量世界2位）。エネルギー関連輸出が約7割。国力急拡大中。

課題・・・「脱」エネルギー依存、「脱」非効率経済、電力増産、運輸整備、ハイテク振興など。政治的リスク・資源価格に振り回されるリスクあり。

**[ブラジル]** 強み・・・安価な労働力。豊富な天然資源・農産物（鉱物、食糧、エネルギー、水）。航空機・自動車産業や海底油田・バイオエネルギー開発などに注力。世界的イベント（2014年ワールドカップ、2016年オリンピック）を控え、インフラ整備が急ピッチ。外国資本流入も活発。

課題・・・格差是正。物価安定下での金利高（インフレ体質のなごり？）

**[メキシコ]** 強み・・・隣接する北米（米国・カナダ）の「工場」（自動車・エレキなど）。世界7位の産油国（2008年）。

課題・・・インフラ整備・格差是正。ハイテク振興

**[南アフリカ]** 強み・・・金・ダイヤモンド・プラチナの世界的産地。自動車生産基地。2010年ワールドカップ開催国。

課題・・・教育水準・治安の改善（黒人約8割・白人他約2割）。インフラ整備・格差是正。

#### 「ユニオンファンドのロシア・ブラジル・メキシコ・南ア株投資」

・ユニオンファンドは「期待成長率の高い」新興国にコムジエストFを通じて積極投資しています。

・コムジエストFの組入上位10カ国は次の通りです。

・・・①ブラジル、②南ア、③台湾、④インド、⑤メキシコ、⑥チリ、⑦ロシア、⑧中国、⑨トルコ、⑩香港

・組入銘柄上位にはブラジルや南アフリカの「食品」「タバコ」「通信」などが多く、個人消費に直結した安定成長株の比率が高くなっています。金融・資源・エネルギーなどの循環株（市況関連）は低比率です。



ロシア



ブラジル



メキシコ



南アフリカ共和国

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ ユニオンファンドは、

①「株式」に投資する ②「グローバル」に投資する ③インデックスでなく「アクティブ」に投資する、  
ファンドの中から実績を挙げてきた4つのファンドに投資しています(ファンド・オブ・ファンズ)。

■ 地域別「目標」投資配分としては、世界の株式市場シェアに比べて「日本」と「エマージング」のウエイトを高めとし、「欧米」を低めとしています。

「日本」 : 低成長市場だが身近な精通した市場  
「エマージング」: 伸び盛りの高成長市場  
「欧米」 : 成熟した低成長市場

■ 世界株式市場は景気回復を反映して堅調に推移していますが、国別・地域別のバラツキが大きく表れています。国別・地域別の動きは次の通りです。

日本……………民主党政権「家計優先」政策への不安、「デフレ・円高」進行などから下落基調。  
欧米・エマージング…「ドル・キャリートレード」の活発化や回復基調の景気指標などを背景に「ジリ高」。

■ 11月の基準価額推移…中旬(11/13)に高値 12,867円を付けた後、揉み合いを続け、月末付近で発生した「ドバイショック」の影響などから月末(11/30)は安値 12,230円を終了。

■ 長期投資の観点からは“まだ割安な水準にある”と判断し、「強気」スタンスを継続しています。11月中の組入れ比率は84~97%で推移し、平均90%、月末は88%(発注ベースでは91%)となっています。

■ 今後の運用方針

● 今後の市況見通し

- ・現在は「世界経済の不均衡是正」途上にあります。
- ・即ち、これまでの「米国個人消費が牽引する世界」から「新興国の内需が牽引する世界」に移行する過程にあります。
- ・そして、これまでに比べ「牽引力が弱い」ことから、今後の世界経済規模はピークに比べ「8割程度」がせいぜいであろうと考えられています。
- ・その意味では、将来に対する「悲観論」が蔓延するのは当然です。
- ・しかし、「8割経済」を目標と考えるなら、新興国の活力を勘案すれば目標達成は十分可能であると考えます。
- ・世界株価は、まだピークの「8割」に達していません。
- ・世界株価は当面「8割経済」に向かって「ジリ高」基調を続けていけるものと考えます。

● 目標投資比率

長期投資の観点からは、まだ「投資妙味のあるタイミング」と認識しています。  
しかし、今回の「ドバイショック」に観られるように短期的には上下にぶれる展開が予想されることから「目標投資比率」を引き続き「85~100%」とし、柔軟に対応していきます。

● 地域別目標投資比率

「日本」が割安水準にまで下落してきたことから「2%」引き上げ、その分「欧米」を引き下げます。  
…日本:20%(前月18%)、欧米:40%(前月42%)、エマージング:40%(変更なし)

● ファンド選定

当面、現在の4つのファンドに投資していきます。

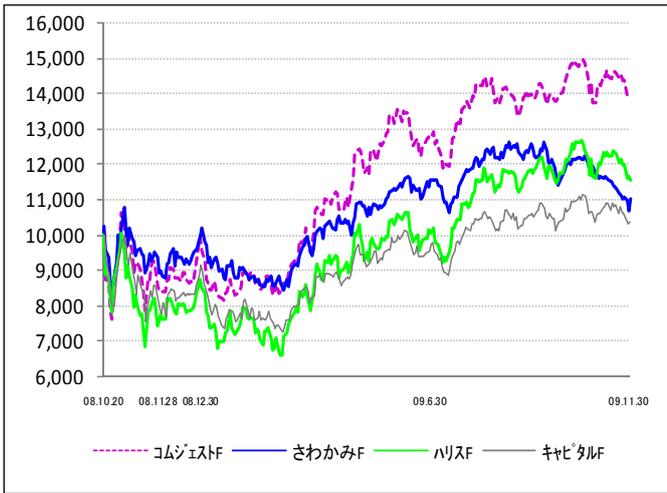
● ファンド別目標組入比率

上記「地域別目標投資比率」変更に伴い、「さわかみF」を「2%」引き上げ、欧米のうち、「キャピタルF」を「2%」引き下げます。  
⇒「さわかみF」:20%(前月18%)、「キャピタルF」:20%(前月22%)、「ハリスF」:20%(変更なし)、  
「コムジェストF」:約40%(変更なし)  
※保有しているキャッシュや新規入金によって比率変更を行い、組入れファンドの一部売却はしません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# 「ユニオンファンド概況」補足コメント

■ 図1 組入ファンドの基準価額推移(2008. 10. 20=10,000)



## >> 図1 基準価額推移

8月以降海外3ファンドが概ね横ばい、「さわかみF」が11月に大幅下落。  
11月1ヶ月騰落率は次の通り。  
・・・「コムジェストF:0.0%」、「ハリスF:▲0.7%」、  
「さわかみF:▲8.8%」、「キャピタルF:▲3.4%」。

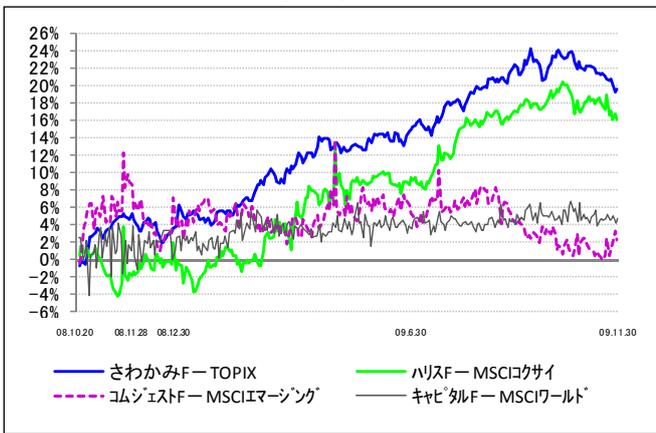
## >> 図2 相対パフォーマンス

4ファンドともインデックスを上回るパフォーマンス。しかし、多少バラツキが出てきた。  
「さわかみF」・・・設定来では約19%凌駕だが、11月は円高などから約4%劣後。  
「ハリスF」・・・概ね約17%凌駕を維持。  
「キャピタルF」・・・安定的に約4%凌駕。  
「コムジェストF」・・・銘柄選択効果などから設定来で約3%凌駕。最近低迷しているのは、安定株中心の運用のため(エマージング株全体は資源関連株などを中心に急上昇中)。

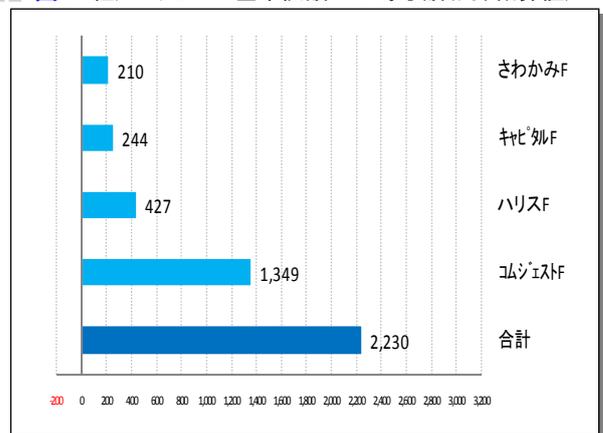
## >> 図3 寄与額

9月末の基準価額が12,230円となっているため、2,230円の評価益に。その内訳を4ファンドに分解すると第3図の通り。4ファンドともプラス寄与。「コムジェストF」の貢献が一番大きい。

■ 図2 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)



■ 図3 組入ファンドの基準価額への寄与額(円、概算値)



## >> 図4 時価総額シェア・目標投資比率

時価総額シェア・・・「エマージング」:08年10月を底に上昇基調。「欧米」:一貫して低下基調。「日本」:低下。

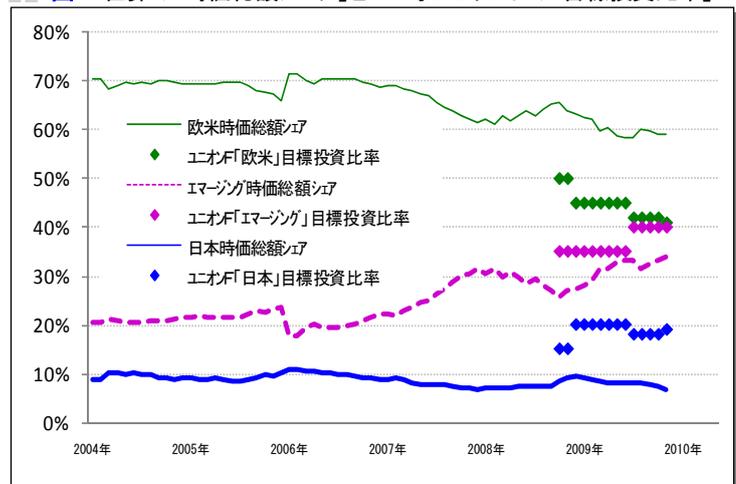
### 「地域別目標投資比率」

日本 :20%(シェア比+13%)  
欧米 :40%(シェア比▲19%)  
エマージング:40%(シェア比+6%)



運用部長 (ファンドマネージャー)  
坂爪 久男

■ 図4 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」



(出所)「時価総額シェア」:ユニオン投信株式会社調べ

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## 組入れ4ファンドの状況

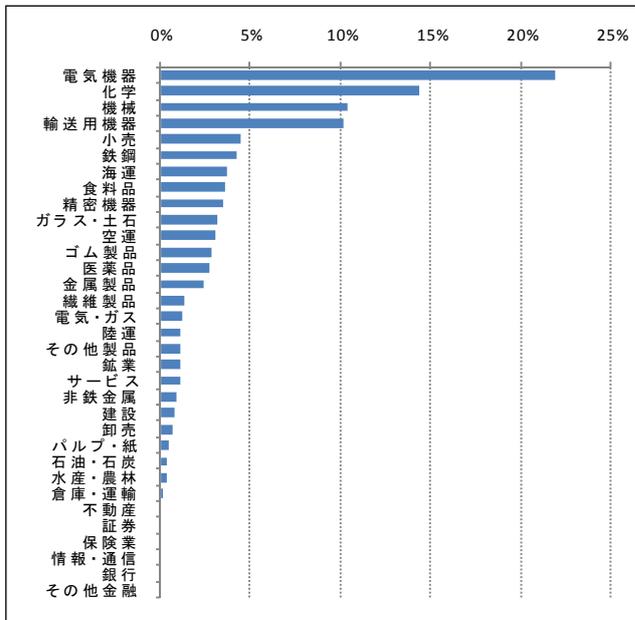
### さわかみF（さわかみファンド）

#### 株式組入上位10銘柄等

2009年11月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	商船三井	3.6%	日本	海運	タンカー・LNG 船で世界一
2	花王	3.1%	日本	化学	トイレット紙首位
3	パナソニック	3.1%	日本	電気機器	総合家電首位
4	セブン&アイ	3.1%	日本	小売	日本最大の小売グループ
5	リコー	3.0%	日本	電気機器	事務機大手
6	全日本空輸	2.9%	日本	空輸	空運実質トップ
7	ブリヂストン	2.7%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
8	トヨタ自動車	2.2%	日本	輸送用機器	自動車世界トップ
9	SUMCO	2.2%	日本	金属製品	半導体用シリコンウエハー大手
10	コマツ	2.1%	日本	機械	建設機械でキャタピラーと双壁
上位10銘柄		28.1%			
その他168銘柄		69.2%			
キャッシュ		2.7%			

#### 業種別構成比



業種：東証33業種

構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

#### >> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆組入銘柄数は約180。最近1年半で約130銘柄を圧縮。  
業種のメリハリを効かせることで個性あるポートフォリオを作り上げている。
- ◆具体的には、
  - (1) 電気機器、化学、機械、輸送用機器、鉄鋼、精密など「ものづくり」企業の比率大。
  - (2) 小売、食品などの「生活関連」企業の比率大。
  - (3) 金融、通信、不動産、倉庫などの「内需型」企業の比率小。
- ◆中小型銘柄から大型・国際優良株へのシフトを進めている。  
割安になった小売・空運が上位に。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ キャピタルF (CIF グローバル・エクイティ・ファンドクラスA)

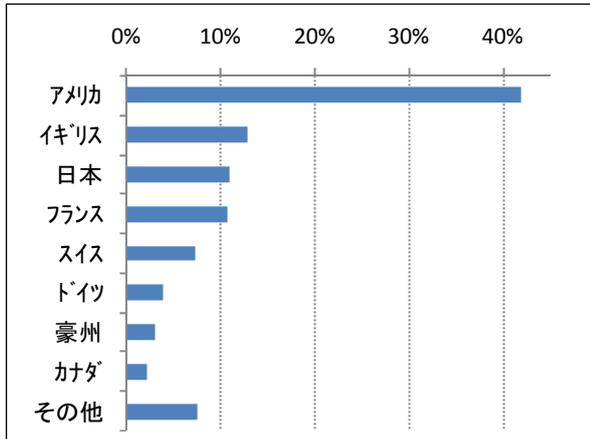
■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

2009 年 10 月末現在

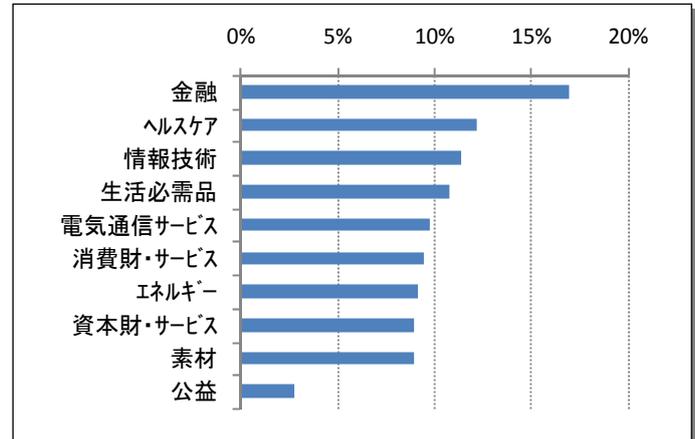
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	Royal Dutch Shell	2.6%	オランダ	エネルギー	石油ガス
2	PepsiCo	2.4%	アメリカ	生活必需品	飲料大手
3	Roche	2.4%	スイス	ヘルスケア	医薬品大手
4	Bouygues	1.9%	フランス	電気通信サービス	通信大手
5	Goldman Sachs	1.8%	アメリカ	金融	世界有数の投資銀行
6	HSBC	1.7%	イギリス	金融	世界有数の金融グループ
7	Target	1.6%	アメリカ	消費財・サービス	小売チェーン大手
8	Celgene	1.6%	アメリカ	ヘルスケア	急成長バイオ
9	Google	1.6%	アメリカ	消費財・サービス	世界最大のネット検索
10	KPN	1.6%	オランダ	電気通信サービス	通信大手
上位 10 銘柄		19.2%			
その他		77.6%			
キャッシュ		3.2%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

>> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 日本を含む先進国に幅広く投資。
- ◆ インデックスに対し大きな偏りをとらず、長期間の安定的な超過収益を狙うファンド。
- ◆ 最悪期を脱した金融株の比率を引き上げてきている (08 年前半: 約 22% → 09 年 2 月ボトム: 11% → 現在 17%)。
- ◆ 最近数カ月はポートフォリオの大きな変更なし。

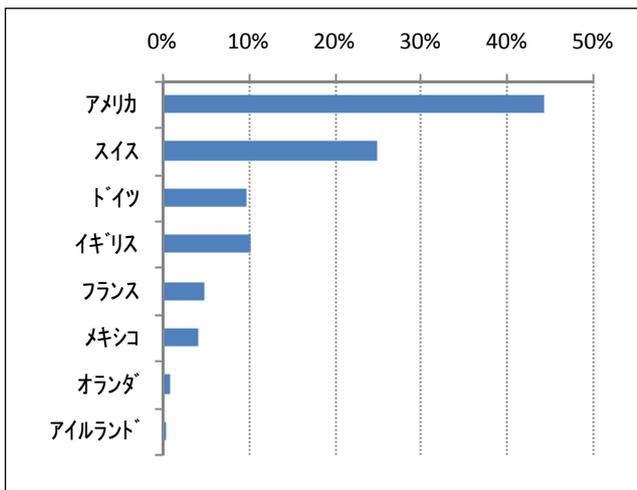
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
 ◆ 当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
 ◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 グループ 2009 年 10 月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	INTEL	6.1%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー
2	FRANKLIN RESOURCES	4.3%	アメリカ	各種金融	資産運用(フランクリン テンプルトン)
3	HEWLETT PACKARD	4.2%	アメリカ	テクノロジー・ハード機器	コンピューター関連大手
4	FINANCIERE RICHEMON	4.2%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・ラグジュアリー
5	CATERPILLAR	3.9%	アメリカ	資本財	建設機械世界トップ
6	BANK OF NEW YORK MELLON	3.6%	アメリカ	各種金融	金融大手
7	ALLIANZ	3.3%	ドイツ	保険	総合保険大手
8	CARNIVAL	3.2%	アメリカ	消費財・サービス	クルーズ客船
9	UBS	3.1%	スイス	各種金融	金融大手
10	PUBLICIS	3.0%	フランス	メディア	広告代理店
上位 10 銘柄		38.9%			
その他 31 銘柄		54.8%			
キャッシュ		6.3%			

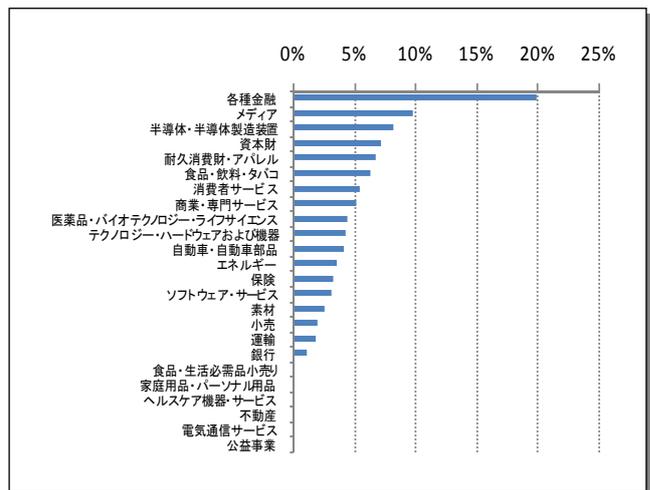
■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)

※2009 年 11 月末現在



業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ  
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 割安な 40 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。日本を除くグローバルに投資。
- ◆ 2007 年 7 月のファンド設定以来、危機下で敬遠された「金融」を一貫して 3 割程度組入れ。  
…3 月以降の「金融」急回復でパフォーマンスに大きく貢献。  
最近では割安感が薄れてきたことなどから「金融」比率を引き下げ(24%に。4 月のピーク比▲8%)。
- ◆ 割安な「メディア」「食品・飲料・タバコ」に注力中。

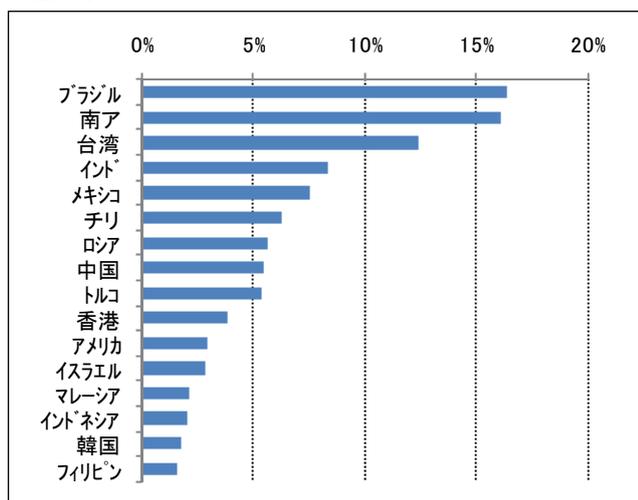
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆ 当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2009 年 11 月末現在

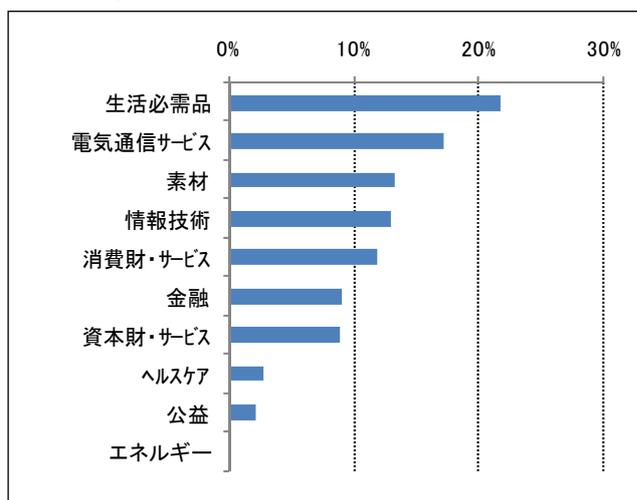
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	4.6%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2	ANGLOGOLD ASHANTI	4.0%	南ア	素材	金鉱開発
3	GOLD FIELDS	3.8%	南ア	素材	金鉱開発
4	JBS	3.6%	ブラジル	生活必需品	食肉加工
5	MTN	3.5%	南ア	電気通信サービス	携帯電話
6	HTC	3.3%	台湾	情報技術	携帯端末
7	MOBILE TELESYSTEMS	3.3%	ロシア	電気通信サービス	携帯電話
8	GRUPO TELEV	3.0%	メキシコ	消費財・サービス	メディア
9	TIM PARTICIPACOES	3.0%	ブラジル	電気通信サービス	携帯電話
10	CHINA LIFE INSURANCE	2.9%	中国	金融	生命保険
	上位 10 銘柄	30.4%			
	その他 29 銘柄	67.2%			
	キャッシュ	2.4%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種：MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター  
構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆新興国の割安な 50 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。
- ◆財務体質健全、積極的な情報開示、株価割安な企業に選別投資。
- ◆高成長新興国中心のポートフォリオ。
- ◆衣食住・インフラ等生活関連銘柄のウエイトが高い。
- ◆新興国市場の高値警戒感から安定成長ができる情報技術・通信関連などにシフト中。
- ◆新興国の携帯電話セクター：成長産業にもかかわらず、先進国の成熟・低成長イメージから株価割安のため高ウエイト。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# ユニオンファンド(組入4ファンド トータル)の状況

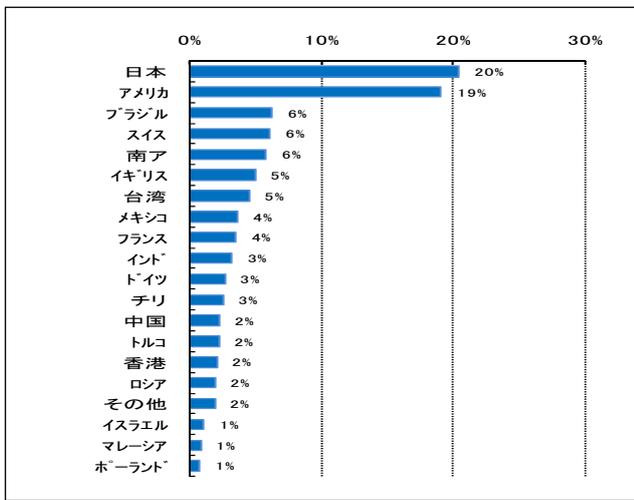
## ■株式組入上位 20 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

2009 年 10 月末現在

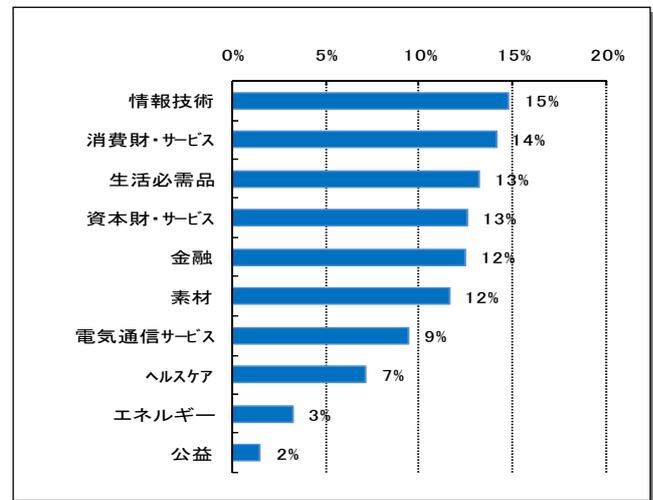
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等	主要組入F
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	1.9%	台湾	情報技術	半導体メーカー	コムジェスト
2	MTN	1.4%	南ア	電気通信サービス	携帯電話	コムジェスト
3	MOBILE TELESYSTEMS	1.4%	ロシア	電気通信サービス	携帯電話	コムジェスト
4	GRUPO TELEV	1.3%	メキシコ	消費財・サービス	メディア	コムジェスト
5	COCA-COLA ICECEK URETIM	1.2%	トルコ	生活必需品	ボトル	コムジェスト
6	GOLD FIELDS	1.2%	南ア	素材	金鉱開発	コムジェスト
7	TIM PARTICIPACOES	1.2%	ブラジル	電気通信サービス	携帯電話	コムジェスト
8	ANGLOGOLD ASHANTI	1.2%	南ア	素材	金鉱開発	コムジェスト
9	CHINA LIFE INSURANCE	1.2%	中国	金融	生命保険	コムジェスト
10	NATURA COSMETICOS	1.2%	ブラジル	生活必需品	化粧品	コムジェスト
11	INTEL	1.0%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー	ハリスF
12	FRANKLIN RESOURCES	0.7%	アメリカ	各種金融	資産運用(フランクリン テンプレート)	ハリスF
13	HEWLETT PACKARD	0.7%	アメリカ	テクノロジー・ハード機器	コンピューター関連大手	ハリスF
14	FINANCIERE RICHEMON	0.7%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・ラグジュアリー	ハリスF
15	CATERPILLAR	0.7%	アメリカ	資本財	建設機械世界トップ	ハリスF
16	Royal Dutch Shell	0.7%	オランダ	エネルギー	石油ガス	キャピタルF
17	商船三井	0.7%	日本	資本財・サービス	タンカー・LNG 船で世界一	さわかみF
18	BANK OF NEW YORK MELLON	0.6%	アメリカ	各種金融	金融大手	ハリスF
19	PepsiCo	0.6%	アメリカ	生活必需品	飲料大手	キャピタルF
20	Roche	0.6%	スイス	ヘルスケア	医薬品大手	キャピタルF
	上位 20 銘柄	20.2%	(注)各組入F開示資料に基づくランキング			
	その他銘柄	72.2%				
	キャッシュ	7.6%				

## ■国別構成比 (上位 20 カ国)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

## ■業種別構成比



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

### >> コメント

- ☆組入銘柄数: 約 500、投資国数: 約 30 カ国。
- ☆組入上位 20 銘柄明細: 40 銘柄程度に絞り込んでいる「コムジェストF」「ハリスF」組入銘柄が上位に。
- ☆国別構成比: 日本・アメリカが約 2 割で 1・2 位。  
新興国ではブラジル・南ア・メキシコ・インドなどが上位に。中国は割高感などから低位。
- ☆業種別構成比: 情報技術から素材まで 6 業種が 15~12%の比率。全体的に好バランス。  
半年前に比べた特徴: エネルギー・資本財などの景気循環株が約 5%低下し、通信・生活必需品などの安定成長株が約 6%上昇。  
防衛的なポートフォリオに。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## 《参加者と共に育まれる》「3分セミナー」ご報告

ユニオン投信株式会社 総務部長  
(消費生活アドバイザー)  
唐澤 洋之



私はご依頼がありますとセミナー会場等にお邪魔させて頂いて簡単なセミナーを行っています。タイトルはズバリ！『マーケットがチョッピリ分かる「カラ坊の3分セミナー」』です。

某月某日、何回かお声を掛けて頂いている、あるセミナー会場で・・・  
「さてセミナーを始めましょう」と、3分にセットされたタイマーをスタートさせる。  
「今日のネタは『ドバイ・ショック』を乗り切る？からです。」  
ここではドバイショックの流れから対策までという内容のお話をしました。  
その後、皆さんにこのセミナーを含め、日頃の感想を伺いました。

### 以下、コメントアラカルト。( )内はカラ坊の心の言葉。

- ・Nさん 「最近、セミナーが楽しみなんですよねえーっ。新聞そんなに読まなくても結構いろいろ分かりますから。」  
(☎：何てありがたい言葉でしょう！この一言で俄然ヤル気が出るんですよ。)
- ・Fさん 「マーケットの流れって、おもしろいですね。」  
(☎：そうなんです。おもしろいと思うところからより分かるようになってきますよね！)
- ・Mさん 「ドバイショックの流れが分かって良かった。」  
(☎：そうそう、世の中、どんなアクシデントが起きるか分からないですからね。)
- ・Hさん 「最近、英会話の勉強をしてるんですが、流れる教材（スピードラーニング）に知っている単語が出てくると理解が進みますよ。それと同じでセミナーに出てきた経済用語や人名などが頭に入っていて、ニュースや新聞などを見ていても、あっ、なるほどな！と思う事が多くなりました。」  
(☎：Hさんのお力添えもあり、おかげ様でここまでやってこれました。本当にいい方達と知り合う事ができました。)
- ・Kさん 「知らない経済用語などがだんだん分かるようになってきました。」  
(☎：私もまだまだ分からない事が一杯あるので、一緒に勉強させてください。)
- ・Mさん 「これからも非常に期待しています。」  
(☎：ありがとうございます。これからも頑張ります。)

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

・Sさん 「大変タメになります。」

(☎：少しでも参考になる事が増えるよう頑張ります。)

・Oさん 「受信機側の性能が悪くてすみません。性能が上がるよう努力します。」

(☎：受信機は抜群ですが、発信機の私の方こそ性能を上げたいと思いますのでよろしくお願ひします。)

・Uさん 「知らない事が一杯あるけれども、知らず知らずに知識として蓄えていく事ができます。」

(☎：Uさんたちのメンバーのおかげで賑やかにさせていただいております。感謝です。)

・Yさん 「世界には頭の良い人が大勢いるのに、何で様々な問題を事前に防ぐ事が出来ないんですかね？」

(☎：おっしゃる通り。予想していても実行するのが難しい事もあるのだと思います。)

このように素晴らしい皆様に囲まれてのセミナーは幸せの限りですし、責任も感じます。ユニオン投信メンバーとして少しでも自分にできることを、そしてお客様に距離感を感じさせない会社であり続けられるよう今後とも考え、行動しますのでよろしくお願ひ致します。

平成 21 年 12 月 9 日記

## 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。 －

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズ的方式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」などがあります。

## 『ユニオンファンド』の手数料

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手数料等および税金」をご覧ください。 －

【申込手数料】 … お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

【換金手数料】 … ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

【信託報酬】 … 総資産総額に年 0.84%（税抜き 年 0.8%）の率を乗じて得た額です。

毎日、当ファンドの投資信託財産より控除されます。

【実質的な信託報酬※ 信託財産の純資産総額に対して年 1.9%±0.3%（概算）】

※『ユニオンファンド』は他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。

【信託財産留保金】 … 信託財産留保金はありません。

【その他の費用】 … 『ユニオンファンド』に組み入れるファンドを売買する際に発生する売買手数料およびこれにかかる消費税に相当する額は投資信託財産より控除されます。

※実際の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## ◆ 業務管理部よりお知らせ ◆

### ◆ 年末年始の営業日・営業時間等について ◆

年末年始につきましては、これまで半日営業となっておりますが、本年 12 月 30 日から、通常の営業時間となります。

年末年始の営業日・営業時間および取引受付時間は、以下のとおりとなります。

	営業日	営業時間	取引受付時間
年末	2009 年 12 月 30 日まで	9:00 ~ 17:00	15:00 まで
年始	2010 年 1 月 4 日から		

### ◆ 目論見書の改定について ◆

12 月 25 日に目論見書の改定があります。改定にあたり、弊社ホームページへも掲載いたします。

今回の改定は金融商品取引法第 5 条(有価証券届出書の提出)の規定に基づき、「ユニオンファンド」の募集申込期間の更新等ですので、重要な変更ではありません。口座開設をされる際に「目論見書不交付の同意」をされていないお客様へのみ、新しい目論見書をご送付いたします。

なお、「不交付の同意」をされたお客様におかれましても、お申し出いただければご送付いたします。

ご希望される際は弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までお申し出ください。

### ◆ 定期定額購入について ◆

毎月 5 日(休日の場合は翌営業日)にご指定いただきました金融機関口座より自動引落としされ、8 営業日後の基準価額にて購入いたします。なお、「新規申込み」「各種変更」には、締切日がございます。締切日を過ぎても届出書類が弊社へ到着した場合には、ご希望される月からは反映されませんのでご注意ください。

#### 定期定額購入スケジュール

引落開始月	新規申込み 引落口座変更 締切日	金額変更 引落中止 締切日	ご指定の金融機関 口座からの引落日	ファンドご購入日 (約定日)
平成 22 年 1 月	締切りました	12 月 16 日 (水)	1 月 5 日 (火)	1 月 18 日 (月)
2 月	12 月 30 日 (水)	1 月 21 日 (木)	2 月 5 日 (金)	2 月 18 日 (木)
3 月	2 月 3 日 (水)	2 月 18 日 (木)	3 月 5 日 (金)	3 月 17 日 (水)

ご不明な点などがありましたら、弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までご連絡ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。